

ふらべじ

Flower&Vegetable

Vol.9 1999
3.10
めばえの号

発行 北海道立 花・野菜技術センター

滝川市東滝川735 TEL (0125) 28-2800 FAX (0125) 28-2299

ホームページアドレス URL:<http://www.agri.pref.hokkaido.jp/hanayasai/center.html>



ゆりねの花、ご存じですか？

食用ゆり *Lilium spp.*

(コオニユリ *Lilium Maximowiczii* Regel.)

栽培では球根の肥大を助けるために蕾はすべて摘み取ります。

したがって一般には花は見るできません。

食用ゆりは数少ない日本の伝統的野菜です。

りん片の色が白く、苦みが少なく、大球性のゆりが食用とされてきました。

現在、食用として栽培されているゆりは植物学的にはコオニユリに属します。

魂を揺り動かす色、オレンジの花に思いを馳せ、真っ白なゆりねを口に含んで下さい。

豊かでも控えめな甘みが口いっぱいに拡がり、あなたに豊饒と悠久のひとときをお約束します。

今年度、花・野菜技術センターで新たに開発した品種・栽培技術をご紹介します。

新しいメロン台木「空知台1号」

北海道でメロンつる割病の新レース、レース1,2yが猛威を振るっています。このレースに対してはつる割病抵抗性と言われていた品種がことごとく罹病してしまい、打つ手がない状態でした。



そこで平成7年から抵抗性台木の緊急育成に着手し、4年間でこの台木を育成することができました。「空知台1号」はレース1,2yに対し、完全ではありませんが強い抵抗性を有する画期的な品種です。レース1,2yの発生によって作付けをあきらめてしまった圃場でも「空知台1号」を使うことによって高品質メロンの生産が再開できるのではないかと思います。しかし、「空知台1号」は穂木の草勢維持がやや難しく、台木品種としてはやや使いにくいという欠点を持っています。

当科では使いやすく、しかも「空知台1号」よりレース1,2yに強い台木品種を現在育成中です。今後ご期待下さい。

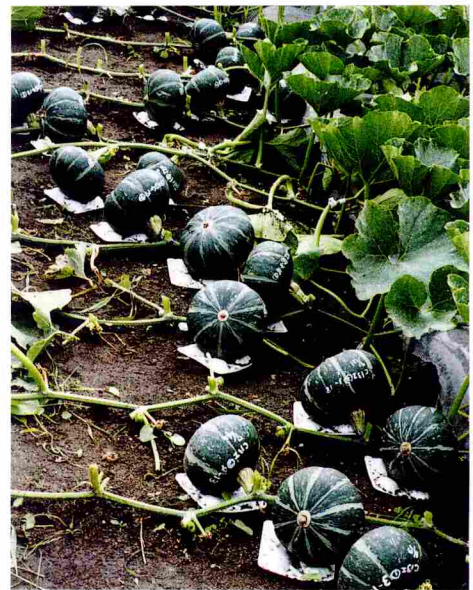
(野菜第一科)

雌花花成促進剤によるかぼちゃの多収栽培技術

とりあえず余った土地に植えておいて、秋になったら暇を見て穫りに行こう…これまでそんなイメージで作付けされていたかぼちゃ。かぼちゃは雌雄異花といって雄花と雌花があり、雌花がやがて果実となって収穫されるわけですが、なかなか人間の思惑通りに雌花が着かず、また、雌花が咲いても果実が肥大する途中で落ちてしまう（生理的落果）といった現象があるため、収量を増やすことが難しいことが、この様な位置づけになった一因と思われます。

そこで、この作物を何とかイメージチェンジし、ねらった節位に着果させ、ねらった時期に収穫できるようにできないか、という観点から試験を行いました。

かぼちゃの生育過程で、ある種の生育調節剤（エテホン液剤）を処理することにより、一定の節位間につく花を全て雌花にすることが可能です。この剤を利用することで、子蔓2本仕立てで1株4果収穫（10a当たり収量にして約3t!）が可能になることが分かりました。薬剤処理、整枝、摘果など、従来のかぼちゃ栽培では行われることのなかった作業が必要になりますが、決まった節位に確実に着果させるため収穫作業における大幅な省力化が可能となり、全体としては省力・軽作業化にも貢献できる技術であると考えられます。平成11年度には、この剤のかぼちゃに対する使用を登録するための試験が北海道をはじめ全国各地で行われます。



(野菜第一科)

宿根カスミソウの品種特性Ⅱ



「ブランシー」、
「ゴラン」、
「雪ん子」など12品種
の特性を新苗と
越年株の無加温
作型で調査しま
した。「ゴラン」
と「雪ん子」は頂花ユニットが小さく、老け花や奇形花が発生しにくい品種でした。

(花き第一科)

デルフィニウム（ベラドンナ、シネンシス）の品種特性

ベラドンナ系は「フォルカフリーデン」など9品種、シネンシス系は「ハイランドブルー」など5品種の特性を夏秋切り作型で調査しました。シネンシス系は新しいタイプで可愛らしい印象の花です。



(花き第二科)

スプレーカーネーションの品種特性Ⅲ

「バーバラ」、「オズ」、「ソネットスウ」など11品種の特性を無加温短期作型で調査しました。「オータム」は採花率が高く、切花のボリュームも大きい品種でした。一重咲きやナデシコタイプの品種も人気があるようです。



(花き第二科)

異国の！農業人いんたびゅ～

from Thailand

異国編第二弾はティパワン・シティランサンさんです。昨年7月から3月末までの長期研修でした。送別会の翌日、お話を伺いました。

*どこから来られたのですか？

タイ国のワット・ヤナサンワララム Agricultural Training and Development Centre から来ました。タイ国の文部省特別教育局農業技術指導員です。約5年間、野菜の有機農法を研究して農家や一般の人々に教えていました。

*どうして日本に来られたのですか？

野菜の栽培技術や土壌肥料や病虫について勉強するために来ました。農業技術が進んでいるので日本にきました。

*9ヶ月間の研修期間にどんなことをされましたか？

農業技術の研修では「野菜栽培技術」「土壌肥料および作物の分析」「病害虫」「組織培養」の4つを勉強しました。有機栽培の研究では、「無農薬・無化学肥料栽培の試み」としてチンゲンサイ・ダイコン・メロンを用いて試験しました。また「にんにくとアロエのエキス散布によるメロンウドンコ病防除の試み」も行いました。



*日本の生活はどうでしたか？

とても良かったです。日本の文化はとても良い文化です。私は着物・茶道・生け花・温泉が好きです。北海道のいろんな美術館に行って素晴らしい絵をたくさん見ました。また、北海道の自然はとてもきれいです。日本の料理もとても好きです。

*タイ国に帰られてからは？

ここで得た技術や知識をタイ国の気候や土壌にあわせて応用して役立てようと思っています。また、日本の家庭菜園のようなものをタイ国でもやってみたいと思っています。

*最後に一言どうぞ。

機会があれば是非また来たいです。ここは私のふるさとのような所です。ここを去った後はとても懐かしい気持ちになるでしょう。

北海道花き・野菜技術研修の課題解決研修として2月に2つのセミナーを開催しました。
両セミナーとも70名を越える出席をいただきました。

アルストロメリア栽培セミナー

2.23

- ◇生産と流通の動向 花き第二科 加藤俊介科長
- ◇品種特性 花き第一科 鈴木亮子研究員
- ◇地温制御・電照による四季咲き性品種の
開花調節 道南農試園芸科 生方雅男科長
- ◇リグツタイプの秋切り栽培技術
花き第一科 鈴木亮子研究員



花・野菜新技術セミナー

2.24~25

本年度、農業試験場で新たに開発された技術を中心に紹介しました。

- 花き部門
宿根カスミソウ、デルフィニウム、スプレーカーネーションの品種特性など
- 病虫部門
RIPA法（迅速免疫ろ紙検定法）による作物ウイルス病の簡易検定技術、コナガ発生予察システムの開発など
- 土壌肥料部門
食用ゆりのあんこ症発生要因と軽減策、花き栽培土壌の養分実態と土壌診断基準値など
- 野菜部門
メロンつる割病（レース 1,2y）抵抗性台木「空知台1号」、雌花花成促進剤利用によるかぼちゃの多収栽培技術など

アラブ社会見聞録

海外遺伝資源探索・導入事業の一環として、昨年11月下旬から約3週間、北アフリカのエジプトアラブ共和国とチュニジア共和国を旅行する機会に恵まれた。アフリカとは言ってもサハラ以北はアラブの文化圏であり、人々の生活はイスラム教の教えに基づいている。このため我々日本人とは価値観が異なることも多く、戸惑いを感じながらも興味深い経験ができた。例えば航空会社や空港などの窓口で、親切な対応を受けるということはまず無いため、極めて不親切だと我々は感じる。しかし、アラブ社会では服務規定に明示されている仕事以外はしてはいけないことになっているそうなのだ。そういう決まりなのだから致し方ない。また、イスラム教においては、持っている人から金やものをもらうのは当たり前。たとえ悪質な商人にボラれようとも、決して彼らを悪人と思っ

てはいけない。彼らの社会のシステムがそういうものなのであって、悪気はない(?)のだから。
えっ、北アフリカの農業はどんなだったかって？
残念！スペースがもう...



(野菜第一科 平井 剛)

編集後記

- ◆我が家の庭の餌台がにぎやかです。初めはズズメばかりでしたが、ヒヨドリ、シメ、シジュウカラにアカゲラも来ました。キレンジャクは来なかったなあ。今年はベリー類を植えるからまたおいでね！（アラレ）
- ◆春、夏、秋と過ぎ、冬もあと少し？と言ったところですが、みなさんはいかがお過ごしでしょうか。ほくは「ぼちぼち元気」です。春からは「なかなか元気」でいこうと思っている今日この頃です。（T）
- ◆長い冬に？kgも体重が増えてしまい、自己記録更新中です。春からの畑仕事に備えるため、子供と一緒に腹筋と腕立て伏せで身体づくりに励む毎日です。ふらべじの1年は皆さんの足を引っ張っただけのようでした。今回、何もせずすみません。（A. S.）
- ◆一年目の私にとって初めての滝川の冬、ウワサ通りの大雪を楽しませて(?)もらいました。出勤時に玄関の引き戸(!)が開かないし、屋根のつららを落としたらガラスは割れるし、自宅の駐車場で車が三点倒立してスタックするし、しまいには平屋の公宅が「かまくら」状態に!!でもこんな話を嬉々として友人に話している私は根っからのoptimistでしょうか。（R. U）
- ◆深い雪に埋もれた“たまねぎ”や“小麦”の顔が早くみたい、作物の無事を祈りつつ。(03)